



地味ですが…
春を告げるチョウです！

春のチョウといえば、4月上旬に羽化する色鮮やかな「ギフチョウ」が有名ですが、少しずつ春めいてきたこの時期にも遊歩道を舞うチョウがいました。「テングチョウ」です。よく見ると、二本ある触角の内側に顔から突き出したような突起部分があります。これがてんぐの鼻のように見えるので、この名前が付きました。

翅の裏側には、葉脈のような模様があり枯れ葉そっくりです(写真上)。てんぐの鼻のような突起は、葉の茎のようにも見えます。天敵となる鳥類などに見つかりにくく、食べられないための自然の護身術なんですよ。

暖かな日差しいっぱいには、地面に降りて翅を広げて休めます(写真下)。翅を広げた際の大きさは5cmほど。翅の表側には、茶色地に黄色の模様があります。

テングチョウは、6月頃に羽化し、真夏には休眠します。そして秋に目覚め、成虫のまま越冬するのです。翅の先、特に左側の後翅に注目してください。ポロポロで大きく欠けています。右側もかなり痛んでおり、越冬の過酷さを象徴しています。厳しい冬に体をさらし、少し暖かくなってくると私たちの前に姿を現してくれるため、「春告げチョウ」とも呼ばれています。



森の日記

木橋修繕完了！ 通行止め解除！

崩落した木橋を修繕している様子を1月号で紹介しましたが、このたび、全2カ所の修繕が完了し、無事「通行止め解除」となりました。長い間ご不便をお掛けしましたが、どうぞ陶史の森の遊歩道散策をお楽しみください。

展望台からは、雄大な“御嶽山”、はるかにかすむ“岐阜城・金華山”、並び立つ“名古屋駅前高層ビル群”や“三国山のアンテナ群”など見どころいっぱい。空気が澄んで強い風が吹く寒い朝はチャンスですよ。



教室のご案内 

3月

シイタケ教室 (要申込・定員30人)

3月6日(日) 午前9時～11時30分

原木にシイタケの菌を打ち、育て方を学びます。※原木は1家族1本

自然教室 (自由参加)

3月13日(日) 午前9時～11時30分

春を待つ木の芽や草の芽を調べます。

バードウォッチング (自由参加、雨天中止)

3月27日(日) 午前9時～11時30分

春の野鳥を観察します。

4月

ギフチョウ観察会 (自由参加)

4月3日(日) 午前9時～11時30分

羽化したギフチョウを放ち、観察します。

ヒツジの毛刈り

4月22日(金) 午前10時～

6頭のヒツジの毛刈りをします。

バードウォッチング (自由参加、雨天中止)

4月24日(日) 午前9時～11時30分

春の野鳥を観察します。